

1. 背景・目的

- 工場勤務者は喫煙率が高い傾向にある。喫煙は歯周病リスクを高めることが知られており、また、歯周病は糖尿病をはじめ全身疾患と関連していることが先行研究で示されている。さらに、歯磨き習慣がある人では、生活習慣病の有病割合や医療費が低く、さらにプレゼンティーイズムも改善するとの報告がある。**従業員の喫煙習慣や歯周病リスクを改善することは、歯科疾患のみならず、生活習慣病や労働生産性にも好影響を及ぼすと考えられる。**
- そこで、本事業では、**工場勤務者の歯周病リスクを定量的に把握し、適切な情報提供を行うとともに、リスクに応じて歯科受診勧奨を行う。**また歯周病のリスクを高める喫煙習慣について禁煙への動機づけを行うなど、**ヘルスリテラシーを向上させ、歯周病リスクの低減を図る**ことを目的とする。
- 加えて、複数健保組合による共同事業の普及に資するため、本事業を通じて、**共同事業を実施するための体制づくり、運用方法、共同事業による効果検証方法等に関するポイントやノウハウを整理**する。

2. 実施内容

■ 着目する業種・職種：工場勤務者

■ 対象者：工場勤務の被保険者

■ 実施内容・方法：

① ワークショップの開催

- 健保組合と事業主によるワークショップを開催し、**工場勤務者の健康課題（喫煙・歯周病リスク等）とその背景（職場環境や働き方）、対策のポイントを整理**する。また、歯科医師によるセミナーを実施し、**働き盛り世代の歯周病等の実態、歯周病と生活習慣病との関連性について理解を深める。**

② 歯周病リスクの把握

- 対象者に対し、**歯科に関する問診**とともに、**唾液検査を実施**する。

③ リスク判定結果のフィードバック

- 問診及び唾液検査結果に基づき**リスクを判定し、対象者全員に結果をフィードバック**する。その際、合わせて健康意識や生活習慣に関するアンケートを実施する。
- 唾液検査の実施にあたっては、会場に**専門職（歯科医師・歯科衛生士）を配置し、適切なリスク判定とフィードバック**を行う。
- フィードバック時に、**喫煙と歯周病の関係、生活習慣病への影響等のリーフレットや、歯科グッズ（洗口液、歯間ブラシ等）を配布**。また、**ハイリスク者には歯科受診勧奨**を行う。

④ 介入プログラムの効果測定

- 一定期間後（3カ月後）、再度問診とアンケートを行う。対象者の歯科リスク、健康意識や生活習慣（喫煙）に改善が見られたか、ハイリスク者については歯科受診行動につながったか（受診意欲、受診の有無）を確認する。

3. 評価方法

■ プログラムの効果検証

プログラム終了後（3カ月後）以下の項目について評価を行う。

- ✓ 参加者の歯科リスク・健康意識・生活習慣（喫煙・歯磨き等）の改善状況
 - ✓ 歯科受診意欲の変化、歯科受診の有無
 - ✓ 生産性（プレゼンティーイズム）への影響
- また、歯科受診の有無と翌年の健診結果との関連について評価する。
- ✓ 生活習慣病リスク因子（血糖・脂質等）への影響

■ 共同事業の効果検証

共同事業の効果やメリット、課題等について参加組合・企業にヒアリングやアンケートを行い、事業評価を行う。

4. スケジュール

8月	キックオフ会議、介入プログラム（問診項目）の検討
9月	ワークショップの開催、介入準備（対象者の抽出、等）
10-12月	問診・唾液検査の実施、結果のフィードバック、アンケート①の実施
1～2月	参加組合・事業者ヒアリング等の実施、アンケート②の実施
3月	集計・分析、報告書とりまとめ

5. 期待されるメリット

喫煙者の歯周病リスクを把握し、適切な介入を行うことで、歯科衛生や禁煙への動機づけが図られるとともに、将来的な歯周病リスクの低減、歯科医療費の削減に寄与する。共同事業により中小規模の組合ではなかなか取り組めない歯科保健事業に取り組むことが可能となる。

プログラムの概要

《問診・唾液検査によるリスク判定》

- 問診と唾液検査キットを用いて、対象者の歯周病等の歯科疾患リスクを判定する。

▶ 唾液検査キットの例

サンスター「ペリオスクリーン」

唾液中のヘモグロビンを検出する試薬。歯周病に見られる出血の反応を簡単に判定可能。



▶ 歯科問診項目

- 日本歯科医師会「生活歯援プログラム」（20問）をベースに、アドバイザーとして本事業に参画する愛知県歯科医師会の助言・指導のもと、問診項目を検討。

Q1：現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか。

Q2：ご自分の歯は何本ありますか。

Q3：自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりと噛みしめられますか。

Q4：歯をみがくと血がでますか。

Q5：歯ぐきが腫れてブヨブヨしますか。

...

✓ 就業時間中に短時間・簡便に回答できるように、**設問数を考慮**。

✓ **喫煙、歯周病リスクに着目し、リスクを判定**。

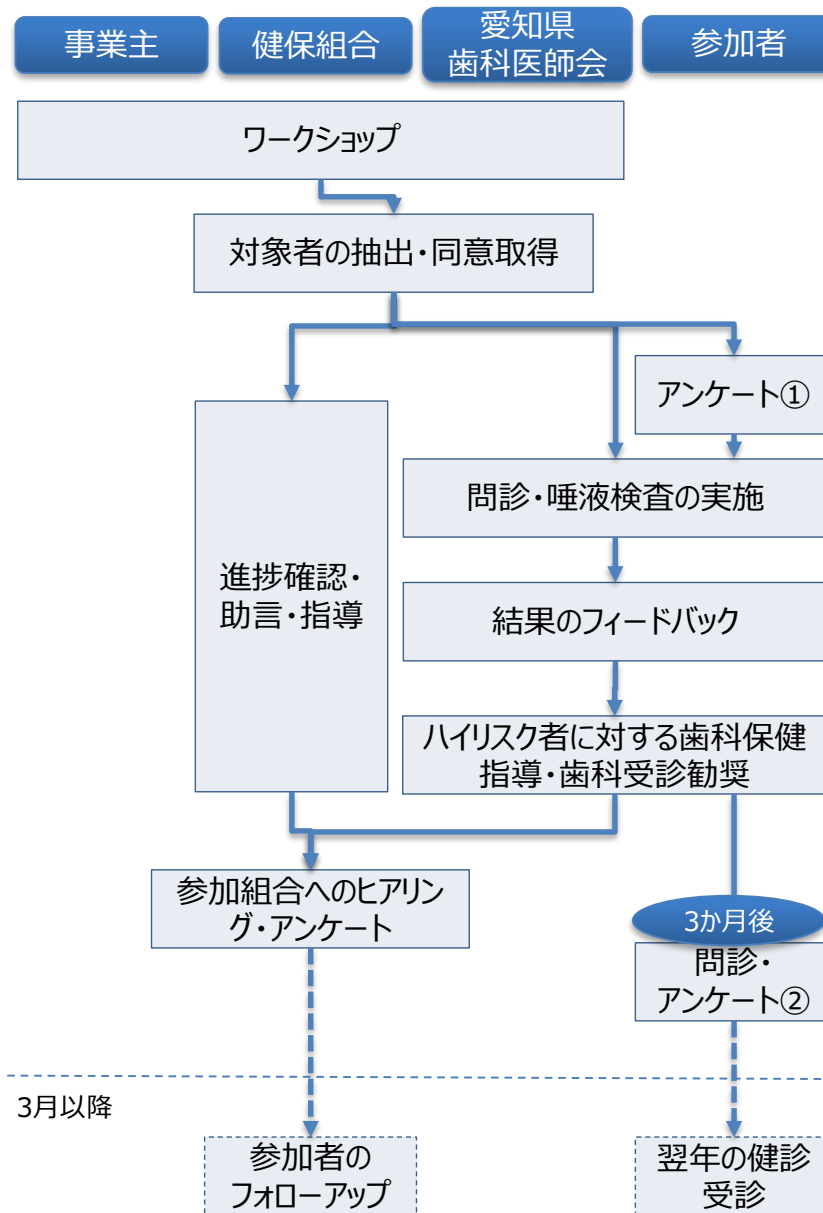
《歯科受診勧奨》

- 問診と唾液検査の結果、ハイリスクと判定された者に対して、歯科受診勧奨を行う。
- ハイリスクの定義については、愛知県歯科医師会の助言・指導のもと決定する。また、唾液検査の判定は、正確性を担保するため、会場に配置する歯科医師または歯科衛生士が行うこととする。

《ハイリスクの定義（仮）》

唾液検査陽性かつ問診項目のうち3つ以上該当 など

プログラム実施の流れ



3月以降